

阿蘇野草園

阿蘇の特異な植物

阿蘇カルデラの固有の自然環境のおかげで、約 1600 種の植物がここで生息しています。そのうち 600 種の植物や花が阿蘇の草原にあるものです。これらの植物の多くは日本全土で見ることができますが、ヒゴタイ、キスミレ、ヤツシロソウなど、この地域にしか見られない数多くの希少な植物や花が自生しています。

草原の中の多くの植物は、九州が大陸とつながっていた時期からのもので、生きた化石と呼ばれています。これらの植物は、元々は大陸の東北部に生息するもので、30 万年前の大氷河時代に朝鮮半島へと南下し、現在の阿蘇地方へたどり着いたと言われており、この地域の涼しい気候で自生しています。

阿蘇の草原には一年を通して花が咲きます。草原が森林にならないように、野焼き、草刈り、放牧などといった活動が行われます。そうすることで、阿蘇の植物が草原の中で繁栄することができます。草原を保全し再生することは重要な仕事であり、それをしなければ、多くの阿蘇の植物が絶滅してしまうでしょう。